

ふくしの宅配便

～この広報紙は赤い羽根共同募金の配分を受けています～



夏休みふくし体験	1、3
赤い羽根共同募金運動	2
中学生職場体験	4
大学生実習報告	5
F&Sパル、溝口テラソ	6
高齢者生きがい対策事業紹介	7
寄付者御芳名、各種寄贈	8

伯耆町社会福祉協議会では、毎年小中学生を対象とした、ふくし体験交流事業を夏休み期間中に開催しています。子ども達が楽しみながら、ふくしに関心を持つことへつながる『きっかけづくり』をテーマとし、今年度は7企画を行いました。その様子を3ページに掲載していますのでご覧ください。

参加していただいた生徒の皆さん並びに保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

- 本所 伯耆町大殿1010 (岸本保健福祉センター内) TEL 0859-68-4635 FAX0859-68-4634
 [生活困窮者自立支援事業専用ダイヤル] TEL 0859-21-0608
 [フィットネス&スタジオ パル] 直通 TEL 0859-68-4811
 小規模保育所こどもパル 伯耆町大殿1081-7 TEL/FAX 0859-39-8211
- 岸本支所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所
 伯耆町大殿1030-1(岸本老人福祉センター内) TEL 0859-68-3781 FAX 0859-68-4588
 [通所介護事業所] 直通TEL 0859-68-3706 [居宅介護支援事業所] 直通TEL 0859-68-5200
- 溝口支所・通所介護事業所・訪問介護事業所
 伯耆町溝口281-2 (溝口福祉センター内) TEL 0859-63-0666 FAX 0859-63-0660
- みぞくちテラソ
 伯耆町溝口647 (役場分庁舎4・5階) TEL 0859-62-7110



生活相談はこちらへ



赤い羽根共同募金



**10月1日から赤い羽根共同募金が始まります
皆様のあたたかいご理解とご協力をお願いします**

今年度目標額 **赤い羽根募金** 1,560,000円
歳末たすけあい募金 605,000円

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金は計画募金という種類の募金で、事業計画に基づいて伯耆町での募金目標額が決定されます。本年度お寄せいただいた赤い羽根共同募金は次年度事業に充当されます。また歳末たすけあい募金は集まった年度内に充当されます。

【計画内訳】

赤い羽根共同募金 (R6募金-R7充当事業) (単位：千円)

歳末たすけあい募金 (R6募金及び充当事業) (単位：千円)

執行者	事業名	計画金額
老人クラブ連合会	健康づくり事業	200
民生児童委員協議会	各種研修事業	37
身体障がい者福祉協会	大会参加事業	60
溝口小学校	交流体験及び栽培活動	45
岸本小学校	花づくりと福祉活動	45
八郷小学校	学校周辺の美化(花いっぱい運動)	30
二部小学校	花いっぱい運動	33
溝口中学校	花いっぱい運動	52
岸本中学校	環境美化活動	45
一般社団法人さかくろ	エバ-刈農園活動及び交流事業	40
伯耆町社会福祉協議会	広報啓発活動事業	400
伯耆町社会福祉協議会	地域団体等交流助成事業	105
鳥取県共同募金会	広域(県内施設・福祉団体助成・災害積立金)	468
総計		1,560

執行者	事業名	計画金額
伯耆町社会福祉協議会	おせち料理配布	587
鳥取県共同募金会	災害準備金積立	18
計		605



(児童・青少年)
花いっぱい運動ほか



(高齢者関係)
健康づくり事業



(障がい者関係) 健康づくり・集い

～地域団体等交流助成事業のご紹介～

上記共同募金計画助成金の内、集落・地域団体などの活性化を目的とした交流事業に助成を行っています。地域・団体内のつながりを強化・推進していくことを目的とした事業であれば申請して頂けます。詳しくは、社会福祉協議会(本所)まで

是非、ご検討ください!

過去に申請があり助成した事業(例)

(集落) ・世代間交流会・緑化活動・支え合い活動・スポーツイベント・支え合いマップ関連事業 など
(団体等) ・育児サークル ・稲作交流会 など

(助成金の使途) [集落の例] ・事業を実施するための必要経費(備品及び消耗品、材料費等)

※助成額には上限があります。

昨年度の募金実績につきましては、10月に全戸配布します『赤い羽根共同募金チラシ』をご覧ください。

きっかけは夏休みから！

～夏休みふくし体験交流事業～

◆車いすバスケットを体験しよう！(町内外小・中学生 計18名、大学受入実習生) 7月30日(火)

鳥取県車いすバスケットボール協会の方を講師にお招きし、車いすバスケットボールの歴史・ルールを通して選手の身体の障がいや程度を学んだ後、実際に競技用の車いすに乗り対抗戦を行いました。上手に操り、スピード感にあふれ白熱した展開となりました。とても楽しく面白かった事と、車いすに乗った姿勢から通常のゴールの高さまでシュートを打つ難しさ(大変さ)を感じてくれたと思います。

◆クッキー作りに挑戦！(町内小学生39名) 7月31日(水)、8月3日(土)、8月7日(水)

障がい福祉サービス事業所『伯耆みらい』のパンもち工房にて開催しました。伯耆みらいでは、障がいがある方が働かれているお話を聞いた後、スタッフの皆さんに教えてもらいながら、形や色をイメージし一生懸命作りました。クッキーが焼きあがる合間には、夏野菜をモデルに絵手紙づくりにも挑戦し、メッセージを添えた個性あふれる素敵な作品が完成しました。



◆ボッチャ交流会！(町内小学生13名、大学受入実習生) 7月30日(火)

障がい者スポーツのボッチャを体験しました。伯耆町身体障がい者福祉協会『愛称：ホウキ・ザ・ボッチャ』の会長から、『障がい(害)』の言葉についてお話をしていただき、ルール説明後、皆さんと対抗戦を行いました。車いすバスケットボール体験も同様に、今年度開催されるパラリンピックを目にした際、今回の交流会に参加したことで、少し違った目線で観れる『きっかけ』になってくれていたら嬉しく思います。



◆陶芸教室！(町内外小学生 計40名、大学受入実習生) 7月25日(木)、8月20日(火)

岸本陶芸教室の皆さん協力の下、開催しました。形づくりと釉薬(ゆうやく)塗りの2回コースで、仕上げまでそれぞれの思いがあり、個性のあふれた良いお皿ができました。終了後には、陶芸教室の方に用意していただいたよく冷えた甘いスイカをみんなで食べ交流を図りました。8月23日に本焼きを終え、とても素敵なお皿が完成しました。



◆eスポーツ交流会！(町内外小学生 計21名) 8月9日(金)

伯耆町社協が事務局を行う伯耆町老人クラブ連合会では、2024ねんりんピックの境港会場で初めて正式種目となったeスポーツに向け、健康寿命延伸や認知症予防などの観点からeスポーツを事業に取り入れました。みぞくちテラスでもフィットネスとは別事業とし今後取り入れ行っていく予定です。今回は事業所紹介も兼ね、みぞくちテラスを会場として実施しました。『太鼓の達人』や今人気がある『スイカゲーム』ほか、みんなを気遣い、きちんと順番待ちをしながら楽しんでくれました。(すばらしいです！)



◆フィットネス体験！(町内外小学生9名) 7月31日(水)

フィットネス&スタジオパルで、風船や新聞紙などを使い、遊びながら身体能力アップを目的とした『人の動きを構成する36の基本動作』を体験し、スタジオレッスン(映像プログラム)にもチャレンジしました。ミラーボールが回る中でのファイドウ(ボクササイズ)では、一生懸命パンチとキックに挑戦しました。



◆貝がらキーホルダー作りに挑戦！ (町内外小・中学生 計31名) 8月7日 (水)

本会で実施している、ボランティア活動 (ゆるっとボランティア) では、毎年、お一人暮らし高齢者等を対象に手作りプレゼントを配布しています。今年度は貝がらキーホルダーを作成されており、今回のふくし体験に取り入れました。『ボランティアってなあに?』のお話をした後、ボランティア (永島勝美さん、林原和子さん) に教えてもらいながら、貝がらを使った、カラフルな、とってもかわいいキーホルダーを作りました。



★今年度のふくし体験参加者の内、中学生については『地域貢献ボランティア (ゆめネット)』として自らが希望し参加してくれました。当日の準備・片付けの他に、参加児童のサポートなどを依頼し、一生懸命に取り組んでくれました。当日はスタッフも少人数であり本当に助かりました。ありがとうございました。

来年も、多くのご参加をお待ちしています!!



岸本中学校 職場体験

7月2日 (火) から7月5日 (金) の間、岸本中学校から2年生 4名の生徒が職場体験に来てくれました。初めは緊張しながらも、4日間、笑顔で前向きに取り組んでくれました。

こどもバル：一緒に遊ぶ、お世話をする

住尾 奈津さん ・中口 真杜さん



最終日に皆さんに感想をお聞きました。本来なら皆さん全てを掲載したかったですが、掲載スペースの都合で1名といたしました。

フィットネス&スタジオバル：接客、清掃、運動指導

吉田 希睦さん



岸本中学校 2年 西村 心結さん

今回の職場体験を通じて、私は様々な事を学びました。例えば、利用者の方々への気づかいです。利用者の方々快適に過ごせるように、職員の方々は利用者の方々の事を第一に考えて動いておられ本当にすごいと思えました。私も実際に介護などを体験してみて、ずっと立ちっぱなしで動いているので、へとへとになってしまい、体験前はこんなに大変な事と思ってなかったので、驚きました。また、利用者の方々の中には、決められた量の飲み物しか飲めない方や消毒がためな方、食べられない物がある方がおられるので、きちんと間違えないように適切に対応する事が大切だとわかりました。

私が体験して一番心に残っているのは、利用者の方の髪をかわかした事です。普段、自分以外の人の髪を乾かす事があまり無く、とても良い経験になりました。丁寧にかわかすところが心がけました。ほかに、利用者の方とのコミュニケーションです。自分の祖父母以外でお年寄りの方と接する事があまりないので、とても新鮮で楽しく、やさしく話してくださり嬉しかったです。

岸本通所介護事業所：レクリエーション参加、お茶出しなど

西村 心結さん



事業所ごとに仕事内容は違いますが、一人一人が色々なことを考えながら一生懸命に取り組んでくれました。将来、目指す仕事について考えるきっかけになってくれたのではないかと思います。中学生の元気な笑顔に力をもらい、スタッフも一段と業務に力が入りました。(毎年です^^)/

体験に来てくれた中学生の皆さん、本当にありがとうございました。

コミュニティ・ソーシャルワーク実習を終えて

新見公立大学の学生2名の実習を、前半(6/17~7/3)と後半(7/11~8/1)の期間で今年も受け入れました。町民の皆様にもお世話になりながら、無事実習を終えることができました。その感想を2人が書いてくれましたのでご紹介します。

約1ヶ月半の間、伯耆町社会福祉協議会でたくさんのことを学ばせていただきました。私がこれから福祉の道に進むとして、伯耆町や伯耆町社会福祉協議会は私のターニングポイントとして必ず振り返らうと思うくらい、この期間で自分の中の福祉に対する考えがより良い方向へと変わりました。そして普段授業で学んだこととこうして実践的に学びを深めていくことでは自分の考えが変わった点がいくつもあり、勉強が得意ではない私が「学ぶことが楽しい」「休日でも実習に行きたい」と思うほど充実した毎日でした。制度を利用するまでの過程を通して自分が苦手だと思っていることに気づけたこと、地域の方と関わる中で人と話すことが好きで得意だと気づけたことなど実習は自分自身について知るきっかけにもなりました。伯耆町で学んだことを福祉として還元できるようこれからもっと大学で学びを深めていきたいと思えます。

実習で関わってくださった方々、私たちを温かく受け入れてくださって、頑張れとたくさんエールをくださってありがとうございました。またどこかでお会いできますように。伯耆町大好きです！

新見公立大学地域福祉学科 難波 朱華

6月半ばからの約1カ月半、伯耆町社会福祉協議会での実習ありがとうございました。実習では、地域のサロンやはつらつ教室への参加、実際の支援の場に同席と様々な体験を通じて、学校で学ぶだけでは分からなかった人とのコミュニケーションや個別の支援を考えることの難しさ、社会福祉協議会が地域で行っている活動がどのようなものなのか自分にまだ足りていないこと等様々な学びがありました。大学に戻ってからはここで学んだことを大事にして、日々学び続けることを忘れずに伯耆町の皆様に実習を受け入れて良かったと思える福祉職になりたいと思えます。

伯耆町での実習を通して、自然の豊かさや地域の皆さんの温かさを知りこの町が大好きになりました！機会があればまた伯耆町を訪れたいと思えます。本当にありがとうございました。

新見公立大学地域福祉学科 横山 幸紀





暑い夏！夏といえばお祭り！ ～パルまつり開催しました～



8月12日（月）にパル広場にて、「パルまつり」を開催いたしました。昨年は、夕方からの開催でしたが今年は12時から開始し、イベントとして様々な世代別の「かけっこ大会」を開催しました。なんとその距離15メートル！小さな子供さんには十分な距離ですが、一般の部となると距離が足りず本来の速さを発揮できない方が続出でした。そして、一番のおたのしみのビンゴ大会で今年のパルまつりは終了。来年も参加をしてくださる皆さまに、より楽しんでいただけるパルまつりを企画してまいります。



みぞくちテラソで eスポーツを！ ～会員様を対象に体験会を実施～



みぞくちテラソでは、新たにeスポーツの導入を9月より開始いたします。まずは、導入に先駆けて体験会を実施いたしました。参加をされた会員の皆さまが楽しまれたのはもちろんのこと、「これは認知症予防になる」といった声もありました。実際、eスポーツには認知症予防の観点からも期待が高まっている取り組みになります。10月からは、会員外の方を対象とした一般開放日を週に一度開催するように準備を進めておりますので、多くの方にみぞくちテラソに出かけていただきたいと思います！



人気の高い“太鼓の達人”を体験！

高齢者生きがい対策事業のご紹介

本会では地域福祉事業、介護サービス事業、健康増進事業、小規模保育事業の4つの面から、住み慣れたまちで暮らし続けていただくために、様々な事業を行っております。

今回は地域福祉事業の中で、高齢者の方を主な対象として実施している、“高齢者生きがい対策事業”についてご紹介します。

●実りの会

お一人暮らしの高齢者（65歳以上）の方を対象として、閉じこもり防止、生きがいづくり、仲間づくりを目的に年6回程度、様々な研修や見学等に出かけます。

参加を希望される方は、会員として登録をしていただきます。



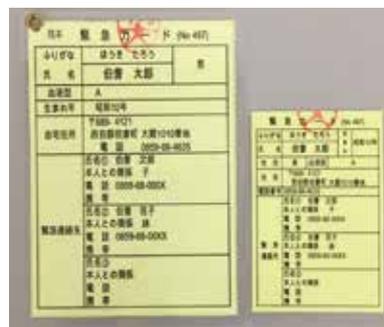
●友愛訪問

本会で把握している75歳以上のお一人暮らしの方のご自宅を訪問させていただき、日常生活での困り事や心配事などをお伺いします。対象の方の誕生日を中心に、地域福祉職員が訪問いたします。



●緊急カード

外出時の緊急時対策として、緊急連絡先などが記載されたカード（大・小）を希望される方に作成いたします。この事業は伯耆町民生児童委員協議会と共同で実施をしており、申請や記載内容の確認等のご協力をいただいております。カード作成を希望される場合は、申請書の提出が必要です。



●読み書きサポート

自宅に届いた文書のうち、本人が希望されるものについて、文書内容の説明や記載が必要な書類の記載支援をおこない、日常生活を安心して送ることができるようにお手伝いをいたします。対象は、読み書きなどに不安のある高齢者や障がい者等で、利用を希望される方は利用登録書の提出が必要です。



各事業の詳細につきましては、本所（68-4635）までお問合せ下さい。

ご寄付ありがとうございました

令和6年7月1日～令和6年8月31日



八 橋 昭 夫 様 (船 越)	圓 山 真 弘 様 (宮 原)	中 西 一 雄 様 (上 細 見)	国 頭 伸 子 様 (こ し き)	香 田 富 信 様 (根 雨 原)	權 代 朗 彦 様 (上 野)	細 田 和 博 様 (丸 山)
-----------------------------------	-----------------------------------	--	--	--	-----------------------------------	-----------------------------------

香典返しとして

飲料のご寄贈をいただきました

7月24日（水）、伯耆町金屋谷で事業展開をされているコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社大山工場様から、“綾鷹”と“いろはす”を各240本、計480本ご寄贈いただきました。本会の配食サービスは、独居高齢者の方々へ毎週火曜・木曜に、調理・配達ボランティアの皆様の協力のもと、安否確認を兼ねてお弁当をお届けしております。



ご寄贈いただいた飲料はお弁当の調理が休みになる8月に熱中症予防の注意喚起と安否確認のため、配達ボランティアの皆様と地域福祉職員で手分けして配付いたしました。コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社大山工場様、本当にありがとうございました。

年々暑さが厳しくなっていくように感じます…。
こまめな水分補給・家の中でも熱中症に気を付けていただくようお願いをしながらお配りしました。

鮎をいただきました

日野川水系漁業協同組合 岸本支部様より鮎をいただきました。こちらは、令和6年7月28日（日）に開催された『第28回きしもと鮎友釣り大会』の、参加選手の皆さまが釣られた鮎です。いただいた鮎は、溝口デイサービス・岸本デイサービス利用者の皆さまに、召し上がっていただきました。



大会に出場された皆さま、日野川水系漁業協同組合様、本当にありがとうございました。

きれいなお花のプレゼント

7月18日（木）、溝口小学校の皆さんが溝口福祉センターにきれいなお花を届けてくださいました。このお花は「人権の花運動」の一環として、いつも見守ってくれている地域の皆さんへの感謝の気持ちと、笑顔が広がりますように、という思いを込めて児童の皆さんが大切に育てられたものです。

福祉センターに来られる方が「かわいいお花だね。」と喜んで下さり、たくさんの笑顔が見られています。

溝口小学校の皆さん、ありがとうございました。大切に育てます♪

